

部 局	都市活力部	補 職	部長	氏 名	高島 健司
-----	-------	-----	----	-----	-------

1. 部局の使命

本市が「住みたいまち、住み続けたいまち」として持続的に発展・成長するよう、本市の持つ有形無形の地域資源や地域特性を掛け合わせ、文化や都市魅力の発信、スポーツを通じたコミュニティづくり、空港を活かしたまちづくり、地域産業の振興など、多様な主体との連携のもと複合的・横断的な取組みを展開し、地域の活性化を推進します。

2. 使命を遂行するための取組み方針と、それに基づく取組みの総括

方針	取組みの総括
○下記1～5の取組みを複合的に進め、2026経営戦略方針に掲げる発展・成長に向けた「創る改革」を遂行します。 1. 文化や都市魅力の発信 - 市民の文化芸術振興など、本市の持つ魅力を最大限に活用し、他分野とも連携しながら、まちの価値を高める取組みを推進します。また、市制施行90周年を機にアンバサダーや市のPRグッズ等を活用したシティプロモーション事業に取り組みます。 2. スポーツに親しむ機会の充実 - 低年齢層をターゲットとした施策を重点的に実施します。また、スポーツ関連資源を有効活用したまちづくりの促進に取り組みます。 3. 空港周辺地域の安全・環境対策及び空港を活かしたまちづくりの推進 - 空港周辺対策の充実や共同利用施設の再編を進めるとともに、空港機能の利活用促進や空港周辺地域の整備等に取り組みます。 4. 産業のあるまちづくりの推進 - 企業立地施策の拡充による産業集積や、デジタル地域ポイント事業、スタートアップ支援、事業者間のネットワークづくりなど、地域経済の好循環を生み出す取組みを推進します。 5. 都市農業の振興 - 都市農業振興基本計画（中間見直し）に基づき、都市農地の保全と活用を図る取組みを展開します。	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	文化や都市魅力の発信		
	(1) 市制施行90周年を契機に、アンバサダーを活用した魅力発信・市PRグッズの作成(7月～)、中央公民館2代目館長の西村真琴氏顕彰事業(10月)等を実施【新規】【重点】		
	(2) 大阪・関西万博レガシー継承事業【新規】		
	(3) 第4期豊中ブランド戦略策定に向けた調査業務【新規】		
	(4) 東西軸活性化アクションプランの総括		
	(5) 新たな魅力の創造【拡充】 駅周辺等エリアごとの魅力の強化、助成金を活用した団体等の支援		
	(6) 発信内容の充実と連携による情報発信 ブランドデザイン・マチカネくんや豊南市場サウンドステーションの活用等		
	(7) 都市間連携・交流【沖縄市・サンマテオ市(姉妹都市)等】		
	(8) 次代を担う子どもたちへの取組み【拡充】 「0歳からのコンサート」(2月)や小・中学生対象の「ホールでオーケストラ」(1～2月)等		
	(9) 部活動の地域展開【新規】【重点】 子どもが部活動を行えるよう負担金の支援や、部活動の会場・講師募集等の検討を行います。		
	(10) 文化芸術推進の取組み 豊中まつり(10月)、美術展や文化芸術祭(10～11月)、大阪大学総合学術博物館と連携した企画展(11月)、まちなかクラシック(10～11月)やデジメタフェス等を開催		
	(11) 第2期文化芸術推進基本計画策定に向けた調査業務【新規】		
	(12) 文化芸術振興助成金・文化芸術活動報奨金の交付		
総合計画			
4-2- (1)	都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます		
基本政策			
51	日本センチュリー交響楽団をはじめまちぐるみで音楽・文化を	57	魅力・活力の視点でハード・ソフト両面から政策を推進
64	豊中市アンバサダーを任命し、まちの魅力を全国に発信		

【今年度末に記載】

【今年度末に記載】

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	スポーツに親しむ機会の充実	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実 ①第3期スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査[新規] ②学校体育館空調設備使用料助成事業の創設[新規] ③体育施設の開館日数拡大、トレーニング機器刷新等〔拡充〕 ④子育て世代の運動機会創出[拡充]（授乳BOX設置等） ⑤トライウォーキング、チャレンジスポーツフェスタ、マルチスポーツ体験教室（各体育館で年間10回程度）等の実施 ⑥グリーンスポーツセンターにおける空き区分の開放〔新規〕 (2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり ①市制施行90周年を契機としたスポーツイベントの実施【重点】 ・アメリカンフットボール、eスポーツ、チアフェスタ等 ②「チアのまち」の推進〔新規〕 ・大会や指導者講習会の誘致、チアフェスタの開催等 ③グリスポピア2026（スポーツやアートなどの祭典） ・神崎川クルーズ船イベント等の実施〔新規〕 ④ユニバーサルスポーツフェスタ（モルックやボッチャ等） ⑤アーバンスポーツ推進事業助成金（スケボー、ブレイキン等） ⑥プロチームやトップアスリートとの連携・誘致 (3) 施設の機能更新等〔新規〕（豊島温水プール大規模改修工事（11月～令和9年12月）、豊島体育館非常用発電機更新(1月)、ふれあい緑地球技場人工芝化工事実施設計(2月)） (4) 学校跡地の利活用〔拡充〕 ①野田小、庄内西小、庄内南小跡地の管理 ②活動団体の統合・集約化促進策の展開【重点】		
総合計画			
4-2- (3)	スポーツにふれる機会の創出とスポーツ施設の環境整備を進めます		
基本政策			
50	プロ・スポーツチームを誘致	55	思いっきり体を動かせるスポーツ環境を整備

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	空港周辺地域の安全・環境対策及び空港を活かしたまちづくりの推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 空港周辺対策【重点】 ①騒音対策事業の実施（通年）、低騒音機の導入促進などの安全・環境対策を関係機関に要望（7月、8月） ②夜間騒音抑制料の効果検証とともに、関係機関や地元住民と連携し、さらなる具体的な活用方法を検討（通年）〔拡充〕 ③関係機関と国際便や国内長距離便の発着回数の規制緩和等に関する調整を進め、市長自らが関係機関等に要望〔拡充〕 (2) 空港機能の利活用促進 ①野球交流や物産販売、伝統芸能の公演（2月）、就航都市魅力PRイベント、就航都市交流会議（11月）、就航都市ツアーの造成（9～3月）〔新規〕を進めます。 ②デジタルスタンプラリーなど、活性連を通じた活性化イベントに取り組みます。〔新規〕 ③JALやANAとのふるさと納税体験型返礼品を創出（9～3月）〔拡充〕 (3) 空港周辺地域の整備と利活用促進【重点】 ①原田緑地の全面開園式典・イベントを実施（3月）〔拡充〕 ②原田緑地及びライブカメラ整備のクラウドファンディング及び企業版ふるさと納税の獲得を促進（通年）〔拡充〕し、ライブ配信やデジタルサイネージでの広告収入を検討（通年） ③原田緑地を拠点としたツアーや本公園ならではの商品・サービスの検討 ④走井緩衝緑地内にトイレラックを設置（通年）〔拡充〕 (4) 共同利用施設の再編及び利便性の向上 ①学校やこども園などの再編に伴う共同利用施設の建替えや統合等を進めます。（通年）		
	総合計画		
3-1- (3)	環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	3-4- (1)	地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます
基本政策			
54	豊中つばさ公園『ma - zika』を起点とした観光呼び込み	66	大阪国際空港をもっと便利に

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	産業のあるまちづくりの推進		
	(1) 重点エリア拡大に向けた地権者へのアプローチ（通年） (2) 奨励金対象エリア・業種の拡大策の運用〔新規〕 ①商業地等における、ホテルや本社機能等の立地を促進 (3) オフィス賃料補助の運用〔新規〕 ①大学等発ベンチャー ②子育て支援サービス事業 ③本社機能 (4) 地域経済の好循環を生み出す取組みの推進 ①デジタル地域ポイント事業の推進〔決済ポイント還元事業及び チャージの実施（11月）、ポイント付与やクーポンの発行 （通年）、バナー広告による歳入確保（通年）〕 ②チャレンジ事業補助金（4月）ほか、各種事業者支援補助制度の 実施（通年） ③旧島田小学校跡地を活用した産業振興施設の開設（5月公募） 【重点】 (5) スタートアップ支援の充実【重点】 ①とよなか起業・チャレンジセンター機能の充実 事業者間ネットワーク構築とアクセラレーションプログラムの 実施による事業成長支援、専門家による相談体制や相談後の フォローアップ体制の強化など（通年） ②スタートアップ支援補助金（4月） (6) 事業者間のネットワークづくり ①大交流会（創業支援機関、コワーキングスペース運営事業者、起 業家など）（年2回） ②交流会（市補助金採択者、フリーランス、女性起業家、異業種な ど）（年4回） (7) 子育て支援サービス事業創出の後押し ①子育て支援サービス事業補助金（4月）	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	3-5- (1) 地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります		
基本政策			
56	教育×企業×デジタルによる豊中発イノベーションの創出・循環	58	産官学連携でスタートアップや起業をサポート
59	千里中央にビジネスサポート拠点を設置	61	地域特性を活かした企業・民間サービスの誘致

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	都市農業の振興	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	都市農業振興基本計画（中間見直し）に基づく取組みを推進します。		
	(1) 生産者が農業を続けられる環境づくり ①農地賃貸借のマッチングによる農地利用の最適化（通年） ②週末農家等の育成を目的とした農業塾の実施（通年） ③市内事業者による豊中市産農産物の利活用の推進（通年）		
	(2) 都市農地の多面的機能の発揮 ①防災協力農地制度の周知と登録推進（通年）		
	(3) 農や食を通じた市民の豊かな暮らしの実現 ①持続可能な市民農園の運営支援と新規開設の支援（通年） ②市民農業体験〔サツマイモ栽培（5月～10月）、たまねぎ栽培（11月～3月）〕や、コミュニティ農園（通年）、農家主体による子ども等体験農園（通年）など多様な農園の実施 ③公共施設等や農業祭等イベントにおける豊中市産農産物直売、学校給食食材における豊中市産農産物の利活用による地産地消の推進（通年）		
総合計画			
3-1- (2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
基本政策			
54	豊中つばさ公園『ma - zika』を起点とした観光呼び込み		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	変革への取組み (1) 財源の確保や新たな価値創造 ①体育施設における利用料金制度導入区分の拡大(4月～) ②体育施設開館日数の拡大・体育施設の年末年始の休館日の短縮による施設の稼働効率の向上(4月～) ③民間活力(指定管理者)による体育館のトレーニング機器の刷新 ④マルチスポーツ体験教室(7月～) ・小学生を対象に様々なスポーツを体験できる教室を4つの大学と指定管理者との公民学連携により実施 ⑤グリーンスポーツセンターの空き区分の開放によるボール遊び等ができる環境整備(通年) ⑥体育施設における歳入確保策の実施 ・豊中ローズ球場有料広告事業の再募集 ・豊島体育館のネーミングライツ開始(4月) ・千里体育館ネーミングライツ契約更新に向けた値上げ交渉の実施 ⑦原田緑地及びライブカメラ整備など、クラウドファンディング及び寄付・企業版ふるさと納税の推進(通年) ⑧マチカネポイントを活用した市事業の推進(通年) ⑨マチカネポイントアプリでのバナー広告機能の運用(通年) (2) 部内PT(課長補佐会議+係長会議)の設置(随時)[拡充] ・部内各事業の相互相乗り、他部局や関係機関との調整など、横断的な協議を行い、財源の確保や新たな価値創造に繋がります。	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
	基本政策		
	0		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)		
1	文化や都市魅力の発信 本市の持つ地域資源や地域特性をかけ合わせ、まちの価値を高める取組みを推進します。特に、アンバサダーによる情報発信、子どもが文化芸術に触れる機会の創出に注力します。 (主な目標値) ①今後も住み続けたいと思う市民の割合：令和7年：87.1% ⇒増加（令和9年） ②社会増加数 流入人口19,861人(令和4年)⇒増加（令和9年） ③社会増加数 流出人口 19,575人（令和4年）⇒減少（令和9年） ④関係人口増加数 ふるさと納税等の豊中市外からの寄附件数7,069件(令和4年)⇒増加（令和9年） ⑤本市を文化的なまちと思う市民の割合 令和7年68.4%⇒ 令和9年：増加 ⑥文化芸術センター（ホール）利用率 令和4年：84% ⇒ 令和9年：85%		○令和8年度（2026年度） ①市制施行90周年を機に取り組むシティプロモーション事業 ②大阪・関西万博レガシー継承事業 ③都市ブランド戦略第4期計画策定に向けた調査 ④文化芸術振興基本計画第2期計画策定に向けた調査 ○令和9年度（2027年度） ①都市ブランド戦略第4期計画の策定 ②文化芸術振興基本計画第2期計画の策定		
	総合計画				
	4-2- (1)	都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます			
	基本政策				
	51 日本センチュリー交響楽団をはじめまちぐるみで音楽・文化を	57	魅力・活力の視点でハード・ソフト両面から政策を推進		
	64 豊中市アンバサダーを任命し、まちの魅力を全国に発信				
2	第2期スポーツ推進計画に基づく取組みの推進 (1) スポーツへの動機づけの強化 (2) スポーツ機会の創出 (3) スポーツを通じた交流の推進 (4) スポーツ推進のための人材確保・育成 (5) 学校跡地利用が決まるまでの間、学校跡地を管理し、従来の学校校庭開放事業に準じた形で暫定的に開放するなど、学校跡地の有効活用を図ります。 (6) 体育施設全体の改修・更新等の年次計画に基づき、老朽化した体育施設から順次、計画的に改修・更新等を行います。 (7) スポーツによるシビックプライドの醸成 (8) スポーツを通じた共生社会の推進 (9) スポーツによる健康増進		◆学校跡地管理 ◇令和8年度(2026年度)野田小、庄内西小、庄内南小の跡地管理 ・スポーツ団体合併・統合支援策の実施(令和10年度まで) ◇令和9年度(2027年度)庄内西小の跡地管理 ◆体育施設改修 ◇令和8年度(2026年度) ・豊島温水プール大規模改修工事着手〔11月頃〕 ・豊島体育館非常用発電機更新〔1月頃〕 ・ふれあい緑地球技場人工芝化工事設計〔2月頃〕 ◇令和9年度(2027年度) ・豊島温水プール大規模改修工事竣工〔11月頃〕12月利用再開 ・豊ふれあい緑地球技場人工芝化工事着手〔1月頃〕 ・庄内体育館機械式立体駐車場平面化工事〔11月頃〕		
	総合計画				
	4-2- (3)	スポーツにふれる機会の創出とスポーツ施設の環境整備を進めます			
	基本政策				
	50 プロ・スポーツチームを誘致	55	思いっきり体を動かせるスポーツ環境を整備		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	空港周辺地域の安全・環境対策及び空港を活かしたまちづくりの推進 （１）新たな遅延便対策の効果検証と夜間騒音抑制料を活用した新たな空港周辺対策、国際便や国内長距離便の規制緩和について、関係機関との協議や地元住民との意見交換を重ねます。 （２）就航都市交流事業により、交流人口等の増加につなげるとともに、活性連事業等により、空港及び周辺地域の活性化に寄与します。 （３）原田緑地について、令和9年（2027年）3月の全面開園をめざすとともに、千里川土手についても、段階的に供用を開始し、令和12年（2030年）4月までに全面供用開始をめざします。また、原田緑地を本市の発展・成長の拠点とし、賑わいづくりなどにより市内外からの人流を生み出し、観光呼び込みにつなげます。 （４）地域コミュニティ拠点施設の再整備に向けて、学校やこども園などの公共施設の再編等に伴う共同利用施設の建替えや統合等を進めます。		○令和8年度（2026年度） ①新たな空港周辺対策及び国内長距離便の規制緩和 ②原田緑地全面開園及び千里川土手の一部供用開始（3月） ○令和9年度（2027年度） ①新たな空港周辺対策及び国内長距離便の規制緩和 ②原田緑地整備・管理運営事業及び千里川土手の整備 ○令和10年度（2028年度） ①共同利用施設の建替えや統合 ②原田緑地管理運営事業及び千里川土手の整備 ○令和11年度（2029年度） ①共同利用施設の建替えや統合 ②原田緑地管理運営事業及び千里川土手の整備	
	総合計画			
	3-1-（3）	環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	3-4-（1）	地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます
基本政策				
	54	豊中つばさ公園『ma - zika』を起点とした観光呼び込み	66	大阪国際空港をもっと便利に
4	新・産業振興ビジョンに基づく取組みの推進 以下の3つの基本方針に基づき、様々な施策を展開していきます。 （１）産業の集積をつくる （２）地域経済の好循環をつくる （３）まちに活力とにぎわいを生み出す （主な目標値） ①事業所数 平成28年（2016年）：13,044件 ⇒ 令和7年（2025年）：現状維持 ②事業所の付加価値額 平成28年（2016年）：6,080億4,000万円 ⇒ 令和7年（2025年）：増加 ③産業誘導区域内の工場・運輸系事業所床面積 平成28年（2016年）：699,136㎡ ⇒ 現状以上（立地適正化計画進捗確認時）		○令和8年度（2026年度） ・企業立地拡大を促進する施策を実施します。 ・デジタル地域ポイントの仕組みのさらなる充実を図ります。 学びの多様化学校との連携等を見据えた産業振興施設の充実に取り組みます。 ○令和9年度（2027年度） ・「新・産業振興ビジョン」について、令和10年度改定に向けた見直しを行います。 ・企業立地拡大を促進する施策を実施します。 ・デジタル地域ポイントの仕組みのさらなる充実を図ります。 ・令和9年4月における学びの多様化学校開校に合わせ、産業振興施設を開設します。	
	総合計画			
	3-5-（1）	地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります		
基本政策				
	56	教育×企業×デジタルによる豊中発イノベーションの創出・循環	58	産官学連携でスタートアップや起業をサポート
	59	千里中央にビジネスサポート拠点を設置	61	地域特性を活かした企業・民間サービスの誘致

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	都市農業の振興 （１）都市農業振興基本計画中間見直しに基づく取組みの推進 現行計画における基本的方向性を踏襲しながら、既存の農業者への支援のみならず、農業者以外の新たな担い手の確保・育成に重点を置いた取組を行います。 （主な目標値：令和11年度（2029年度）） ①農地貸借のマッチング 10件 ②農業ボランティア 10人 週末農家 5人 ③市民農園の開設場所 23カ所 ④コミュニティ農園の開設か所 3か所 ⑤農業体験の実施 3か所		○令和8年度（2026年度）～令和11年度（2029年度） 都市農業振興基本計画中間見直し後の計画に基づく取組みの実施	
	総合計画			
	3-1- (2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組を進めます		
基本政策				
	54	豊中つばさ公園『ma - zika』を起点とした観光呼び込み		